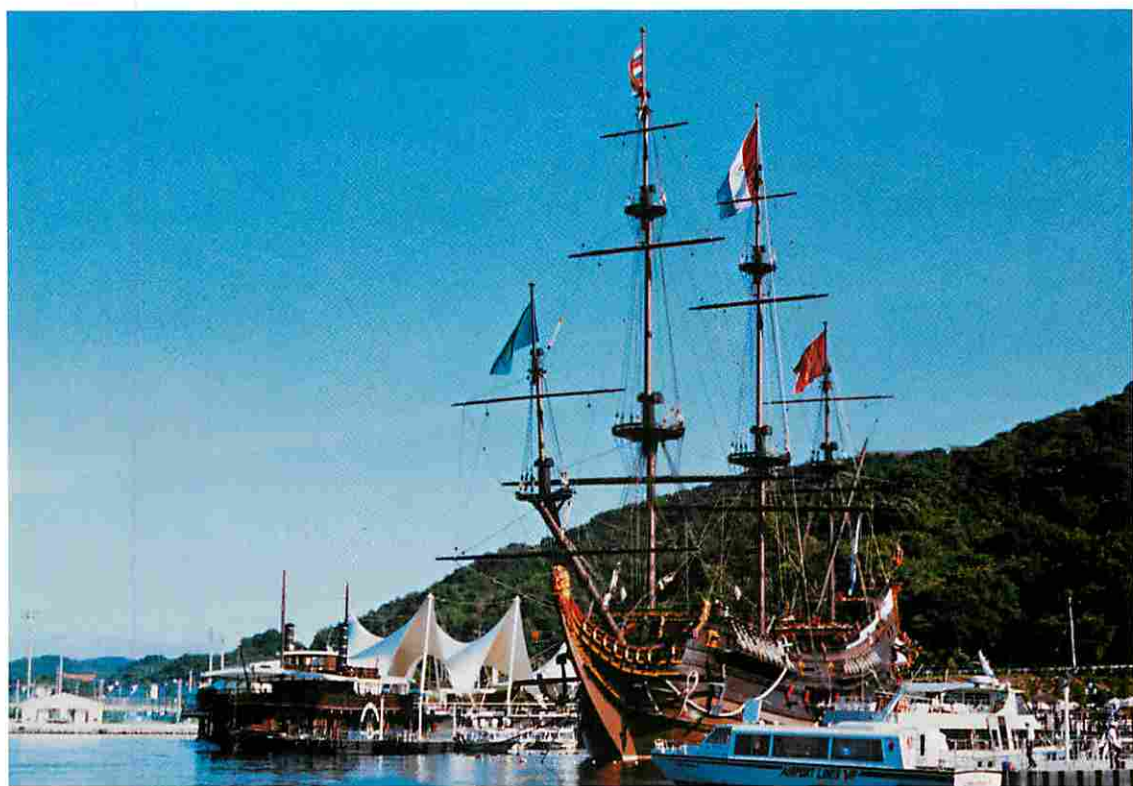


熊本市歯科医師会会誌

第 56 号



B型肝炎の予防並びに意識調査

第10回熊本市歯科医師会バレーボール大会

10周年記念バレーボール大会懇親会

表紙の写真 “長崎オランダ村、

市広報委員 寺脇 博

目 次

学術講演会「B型肝炎の予防」	成松 賢二	2
第10回熊本市歯科医師会バレーボール大会		6
10周年記念バレーボール大会懇親会		18
スタッフレベルアップ研修会	徳永 俊英	22
母と子のよい歯のコンクール	口腔衛生委員会	24
勉強部屋	伊東 隆利 ・ 伊東 武嗣	25
本日休診「パコーン」	友枝 和夫	31
補助者講習会	岩村 泰行	33
ビリヤード大会	岩村 泰行	35
新樹会「10周年記念大運動会」	遠山 啓介	36
熊本市学校保健会総会	柿原 康男	37
御 案 内		38
新入会員紹介		40
会務報告		42
編集後記		

学 術 講 演 会

B 型 肝 炎 の 予 防

成 松 賢 二

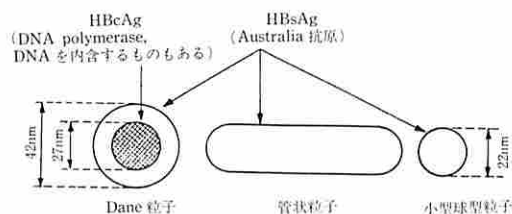
去る昭和61年7月10日(木)、熊本県歯科医師会館3Fホールにおいて、熊本市学術講演会が開催されました。

今回は、B型肝炎の予防「特に歯科医療従事者を中心に」という演題で、山口大学医学部歯科口腔外科学講座の篠崎文彦教授に講演していただきました。

近年、B型肝炎に対して大きな関心が払われるようになり、特に我々歯科医師は患者の口腔内を素手で診たり処置したりすることが多いので、他の医療従事者よりもB型肝炎ウイルスの感染を受ける機会が多く、この肝炎ウイルス感染の既往を意味するHBs抗体保有率が40%以上を示していると言われる。

このように、今日ではB型肝炎が医療従事者における一種の職業性疾患とも考えられるようになり、各医療施設や診療室で感染予防対策が嚴重にとられ、ワクチンの接種も行われるようになってきました。講演の要旨は次の通りです。

○ B型肝炎とは



○ A 型、B 型肝炎の比較

	A 型	B 型
潜 伏 期	3～6 週	4 週～6 ヶ月
発 症 時 期	通常急性	通常潜行性
発 生 状 況	流行性、農村	散発性、都会
慢 性 化	—	++
血清、GOT、GP上昇	一過性(1～3 週)	遷延性(1～8 ヶ月)

○ 抗原抗体系の意義

HBs 抗原陽性とは、現在体内に B 型肝炎のウイルスを保有していることであり、肝炎を発生しているか、あるいは一過性の感染であるか、又はいわゆる無症候性のキャリアーで常時ウイルスを保有している場合である。

一過性の感染及び無症候性のキャリアーの場合は通常他の肝機能検査で全く異常をみないことが多く、特に前者では発病する例は非常に少なく、そのほとんどが不顕性感染であり、HBs 抗原消失後は一定期間

においてHBs抗体が血中に出現する。

一方HBs抗体陽性とは、B型肝炎ウイルスの感染があったことを意味しており、その大部分が本人の自覚しない、いわゆる不顕性感染である。

HBV感染とB型肝炎関連抗原・抗体系の関係

	HBs 抗原	HBs 抗体	HBs 抗体	HBV感染との関係
I	+	-	-	急性B型肝炎初期
II	+	-	+	急性B型肝炎経過時期 持続性感染
III	-	+	+	急性B型肝炎回復期
IV	-	+	-	急性B型肝炎回復期 血清学的転換 (seroconversion) 再感染なしのHBVの 反復刺激
V	-	-	+	急性B型肝炎回復初期 急性B型肝炎経過時期 持続性感染 (HBs抗原検出感度以下)

○感染予防

- 手洗いの励行（イルガサンDP-300 商品名 グリニス）
- 白衣、マスク、帽子、メガネを確実に着用（毎日取り換える）
- 診療時にはできるかぎりゴム手袋を使用（特に抜歯や小手術など血液に触れるときは必ず使用すること）
- 注射針やメス、縫合針はディスポーザブルのものを使用。
- 歯科用器具やトレイ、コップ、バーやリーマー、ファイルなどは使用後十分水洗いのうえ、2%グルタールアルデヒド液（商品名 ステリハイド）に浸漬（約30分）後、煮沸消毒かオートクレープへ。



- ユニットやテーブルなど普通の消毒ができないものは毎日診療後、イルガサンアルコールや次亜塩素酸ソーダ液（1%）商品名 ヒューラックス、クロラックス、ミルトン、ハイターなどですみずみ迄十分に拭く。
- ハンドピース、コントラアングルなど加熱消毒可能なものは、オートクレープに、加熱消毒不可なものはガス滅菌する。

最後に会員多数の出席と化血研の皆様の御協力に感謝致します。又、同時に実施致しましたB型肝炎に対する意識調査結果をここに御報告致します。

B型肝炎に対する意識調査アンケート

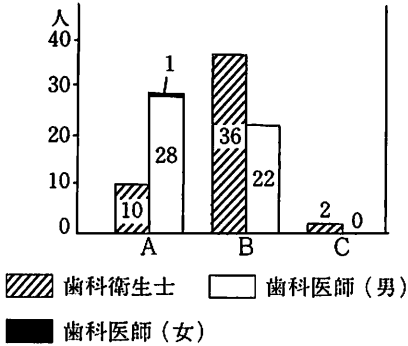
'86.7.10実施（99人）

1. B型肝炎を知っていましたか？

（グラフ1）

- (A)よく知っていた
.....39人（39.4%）
- (B)少し知っていた
.....58人（58.6%）
- (C)知らなかった
.....2人（2%）

グラフ 1



2. B型肝炎にかかったことがありますか？

(A)はい……………歯科医師 (男) 6 人
歯科衛生士 3 人

(B)いいえ……………歯科医師 (男) 42 人
" (女) 1 人
歯科衛生士 44 人

3. 2で(A)に○をつけた方だけお答え下さい。

感染経路がわかりましたか？

(A)はい……………歯科医師 (男) 4 人
歯科衛生士 1 人

(B)いいえ……………歯科医師 (男) 2 人
歯科衛生士 2 人

4. 3で(A)に○をつけた方だけお答え下さい。

(A)輸血による原因…歯科医師 (男) 1 人
(B)患者さんから…… " 3 人
歯科衛生士 1 人

(C)その他 ()

5. 貴院での器具の消毒は？ (いくつでも可)

(A)オートクレーブ 66 人
(B)ガス滅菌 37 人
(C)薬液消毒 (オスバン・ヒビテンなど) 80 人
(D)B型肝炎消毒液 44 人
(ステリハイド・イルガサン DP-300 など)

6. 手指の消毒は？ (いくつでも可)

(A)薬液 (オスバン・ヒビテンなど) 65 人

(B)肝炎予防用石ケン 43 人
(グリンス・マイカンティなど)

(C)薬用石ケン 41 人

7. B型肝炎が手指の傷口より感染することを知っていましたか？

(A)はい……………歯科医師 (男) 50 人
" (女) 1 人
歯科衛生士 46 人

(B)いいえ……………歯科衛生士 2 人

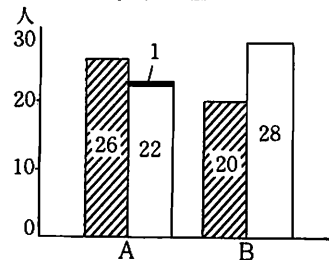
8. B型肝炎患者治療中にあやまって手指を傷つけた場合の処置を知っていましたか？

(グラフ 2)

(A)はい……………49 人 (50.5%)

(B)いいえ……………48 人 (49.5%)

グラフ 2



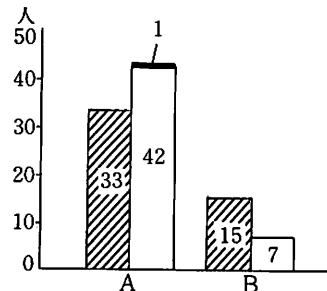
9. B型肝炎ワクチンを知っていましたか？

(グラフ 3)

(A)はい……………76 人 (77.6%)

(B)いいえ……………22 人 (22.4%)

グラフ 3



10. あなたは B型肝炎検査のために血液検査を希望しますか？

Dr. 48 人

DH. 44 人

(A)はい.....92人 (94.8%)

(B)いいえ.....5人 (5.2%)

(B)いいえ.....17人 (18.3%)

Dr. 8人

DH. 9人

11. B型肝炎ワクチンの接種を希望しますか？

無回答

(A)はい.....76人 (81.7%)

Dr. 38人

DH. 38人

Dr. 5人

DH. 1人

第10回 熊本市歯科医師会バレーボール大会

東部2のV奪還!!



老兵はまだまだ衰えず

去る6月29日(日)、東海大学第二高校体育館において昨年同様、11支部12チーム参加のもと、第10回 熊本市歯科医師会バレーボール大会が開催された。

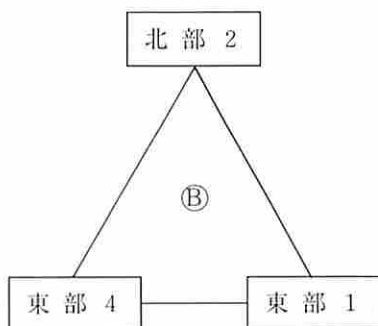
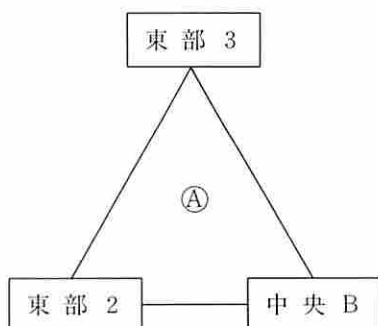
午前9時すぎ、古賀明厚生委員長の「開会の辞」で始まり、川崎正士会長の挨拶後、前年度優勝チームの中央A（元島博信先生）よりトロフィー返還が行われた。続いて菅原洋

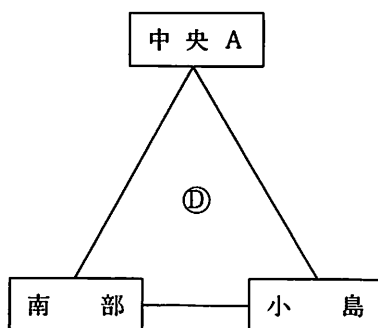
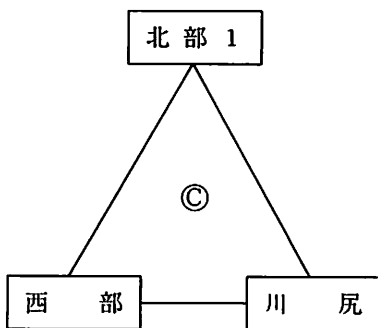
理事より「熊本市歯科医師会バレーボールルール」の説明及び審判員の紹介がなされ、予選リーグの組合せ抽選会に移った。

抽選後、西部支部の中川順一先生の力強い選手宣誓でいよいよプレーが開始された。

今大会の見どころは、中央Aの「連覇なるか」東部2の「覇権奪回なるか」あるいは、昨年準優勝・北部2の「優勝なるか」など10周年記念大会にふさわしい話題の豊富な大会になった。本年は、例年にも増してバレーボール大会に対する情熱が注がれ各支部の夜間練習にも一段と熱が入り、試合中選手達の懸命な攻守に熱気溢れる観客席から拍手が送られ、すばらしい盛り上がりを見せた。

〈予選リーグの組合せ〉





〈予選リーグの結果〉

〈Aパート〉

	東部 2	中央 B	東部 3	
東部 2		①19-17 ②15-13	①15-4 ②15-6	2勝0敗
中央 B	①17-19 ②13-15		①15-10 ②15-7	1勝1敗
東部 3	①4-15 ②6-15	①10-15 ②7-15		0勝2敗

〈Bパート〉

	北部 2	東部 4	東部 1	
北部 2		①16-14 ②15-6	①15-2 ②15-10	2勝0敗
東部 4	①14-16 ②6-15		①15-10 ②15-5	1勝1敗
東部 1	①2-15 ②10-15	①10-15 ②5-15		0勝2敗

〈Cパート〉

	西部	川 尻	北部 1	
西部		①15-11 ②13-15 ③15-17	①15-9 ②20-18	1勝1敗
川 尻	①11-15 ②15-13 ③17-15		①15-10 ②12-15 ③12-15	1勝1敗
北部 1	①9-15 ②18-20	①10-15 ②15-12 ③15-12		1勝1敗

〈Dパート〉

	中央 A	南部	小 島	
中央 A		①16-14 ②11-15 ③15-4	①15-6 ②15-6	2勝0敗
南部	①14-16 ②15-11 ③4-15		①15-11 ②12-15 ③15-8	1勝1敗
小 島	①6-15 ②6-15	①11-15 ②15-12 ③8-15		0勝2敗

(3チームともに1勝1敗のため、得失セット数により)

- 1位 西部
- 2位 川 尻
- 3位 北部 1

☆予選リーグの結果、Aパートより東部 2、Bパートより北部 2、Dパートより中央 A が順当に勝ち名乗りをあげ、Cパートは大接戦の末、ダークホースの西部が準決勝に進む大殊勲を上げた。



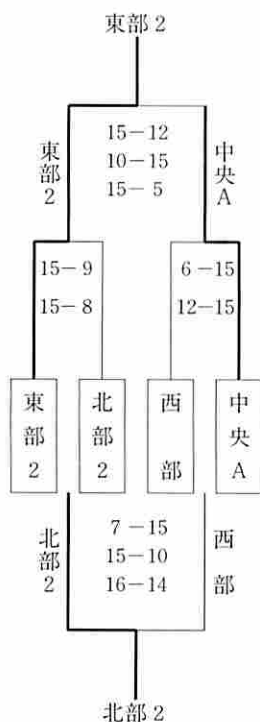
宣誓の御利益？ 西部 4 位躍進



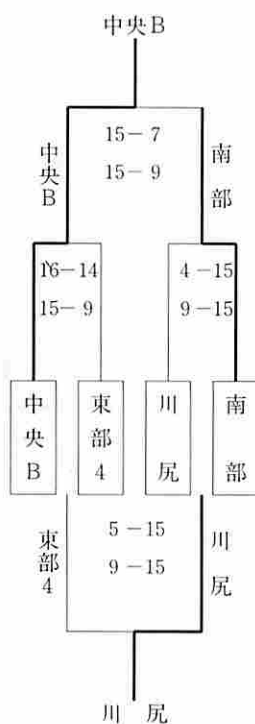
V 2 めざして 中央 A のトロフィー返還!!

【決勝トーナメント組合せ及び結果】

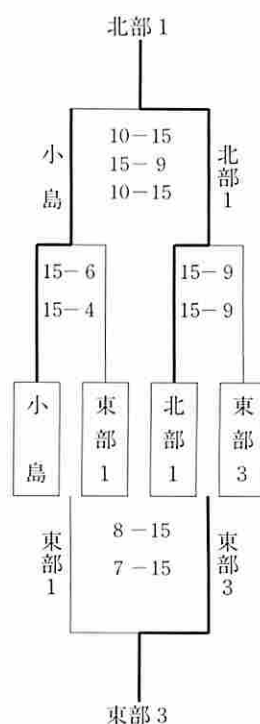
I (各パート 1 位)



II (各パート 2 位)



III (各パート 3 位)



〈順位〉

優勝 東部 2
準優勝 中央 A
3 位 北部 2
4 位 西部

5 位 中央 B
6 位 南部
7 位 川尻
8 位 東部 4

9 位 北部 1
10 位 小島
11 位 東部 3
12 位 東部 1

<個人賞>

		優 秀 選 手 賞	
中 央	A	長 松 千 春	元島歯科従業員
	B	高 見 佳 代 子	池上歯科従業員
東 部	1	藤 波 剛	会 員
	2	永 野 忠	〃
	3	添 島 正 和	〃
	4	森 尾 謙 二 郎	〃
北 部	1	坂 梨 秀 光	中根歯科勤務医
	2	井 本 栄 子	渡辺歯科従業員
南 部		蔵 田 幸 一	会 員
西 部		武 田 清	中川歯科従業員
小 島		鳥 取 孝 治	会 員
川 尻		佐 古 弘 文	久保田歯科勤務医

準決勝は第1試合が、優勝候補の東部2が北部2を2-0とストレート勝ちし、横綱の貫禄を見せると、一方第2試合は昨年の覇者中央Aが西部を相手にうまい試合運びでこれもまた2-0と圧勝した。

いよいよ決勝戦は両雄東部2と中央Aの間で行われた。優勝戦らしく、実力互角で激しい熱戦がくり広げられ、速攻に冴えを見せる東部2が中央Aをふり切り覇権を奪回した。

午後2時半すぎ予定通り全試合が終了し、古賀厚生委員長の「閉会の辞」で幕を閉じた。

今大会にご協力いただいた審判員の方々、東海第二高校、賛助団体に紙面をお借りして御礼を申し上げます。



史上最大参加数

参加チームの顔

中央 A



残念、無念

中央 B



川崎会長も楽しくガンバりました！

東部 1



はじめての最下位
来年は上位入賞まちがいなし

したのに 6 位に止どまった事を我が東部第 2 支部の皆が忘れる事なく、5 月より宇治支部長を初め椿、古賀、永野、松本(一)、吉永、小柳、橘の各先生方の協力を得、積極的に練習に参加していただき守備練習に集中した事が勝利につながったと思う。

特に、決勝戦に於ける宿敵中央 A チームとの対戦は、15-12、10-15、15-5 のフルセットとなり、大いに盛り上がった一番の好ゲームであった。

この優勝の原動力は、参加者全員の総合力

東部 2 上原凡由

厚生委員会の先生方の御苦勞により、昭和 61 年 6 月 29 日、第 10 回熊本市歯科医師会親善バレーボール大会が東海第二高校体育館で開催され、第 8 回以来 2 年ぶり二度目の優勝を飾る事が出来た。昨年の第 9 回大会の予選で第 1 セットを取り第 2 セット 14 点まで先攻し残り 1 点で勝利が目前にありながら守備攻撃に勝る中央 A チームの追撃に負け、残り全勝



10 周年記念大会に V 奪還
楽しかなあ!!

によるものであることは、列記するまでもありません。が特に、椿先生の体力を考慮した頭腦的プレー、宇治先生の華麗なパワフルプレー、最優秀選手に輝いた永野先生のファイトプレーが光っていたように思う。

作戦面に於いても、守りに重点を置いた強力な守備陣によりミスが少なかったようです。又、我チームの女性陣のパワーは、驚異的なものであった。

東 部 3



大会随一の最多参加数 来年は上位へ

東部4 新 村 健 三

6月29日(日)、東海第二高校体育館にて、第10回記念熊本市歯科医師会バレーボール大会が開催された。外はあいにくの雨であったが体育館の中は別世界で、参加者の熱気であふれていた。

今回は10周年という一つの区切りでもあって諸先生方の協力も大で、それ以上に、応援の方も多数の参加があった。

開会式の後、熱戦が繰り広がるわけだが、我が東部4は運悪くも強敵ばかりにあたり、私が前衛にいるにもかかわらず、そしてチー

ムが試合での感想で、今回のハイライトは、大会後の10周年記念合同懇親会だった。

全チームが、400名以上が参加し、健闘を称え合い、学生時代に帰ったような雰囲気の中、大いに盛り上がり、中でも東部第2支部は最高の気分で旨い酒を飲むことができた。

来年の開催もよろしくお願ひしたいものである。

ムの実力もだせないまま、過去最低の8位に終ってしまったのである。そこで考えた。この敗北の原因はいったいなんだったんだろうと…。浮かんできたのが、私と森尾先生である。ボールが怖い私が前衛にいることと、ボールを足でうけようとする森尾先生がチームに参加していることが、大きな原因であったに違いない。しかし、森尾先生は敢闘賞をもらった。何とも不思議な話である。こんな私達がいなければ、もっと上位をねらえただろう。チームの皆さんにお詫びしなければならない。しかし、スポーツは参加することに意義があるのだから、来年もチームに入れてもらい、汚名挽回しようと思っている。



近年まれな支部団結!!

試合の結果は、強豪東部2の優勝で、前年度優勝の中央Aが準優勝であった。この二つの強豪チームは格別としても、来年こそは、3位入賞したいものである。

今回は10周年大会ということで、全支部合同の懇親会が交通センターホテルで、午後6時より行われた。昼間の興奮と熱気が続いている中、ビールで乾杯し、各先生方と親睦を

熊本市歯科医師会の会員相互の親睦を計るためとしてバレーボール大会が企画されて、はや10年が経ちました。今年の10周年記念大会では西部支部の支部長として「功労賞」をいただきました。私が支部長をしていたのは56年度までですが、バレーボールに関して思い出すことといえば選手集めの苦労ばかりのような気がします。

我西部地区は会員数が少なく、また新入会員もあまり入ってきません。必然的に、比較的若手といわれる会員も少なくなってきました。技は別としても如何にして体力のある選手を1チームの人数分集めるかが最大の課題となります。この状態は今も変わりはなく、私の後の支部長の栗原先生も非常に苦労されているところですよ。10年前に西部地区の若手として出場した私たちが、その後ほとんど顔ぶれも変わらず闘っているのがそのことを如実に物語っています。西部地区では、我々が10年経った今でも若手なのです。最初の上位入賞が、年とともに順位が下がってきたという

深めた。非常に豪華な賞品もいただいて、素晴らしく気持ちのいい一日であった。

これだけ充実した盛大な大会、及び懇親会を企画、運営された実行委員の皆様、諸先生方に感謝の意を捧げるとともに、来年も、また20周年、30周年と元気がある限り参加したいと思っている。

西部支部 片山 幹夫

のも無理のないところでしょう。他のチームのように、毎年毎年新しい力強い顔が現れるのを見るにつけ羨ましいかぎりです。

もし、まだこのままバレーボール大会が続くとするならば、我々は“老骨に鞭うっても”とまではいかななくても、心して参戦しなければならない運命にあるようです。西部地区では今からもしばらくは我々が比較的若手なのです。

会員相互の親睦を深めるには大局的にみてバレーボール大会は非常に良い企画だとは思いますが、願わくば“比較的若手”が事故の



去年の最下位から今年は超死回生の4位に！

心配もなく、また“比較的実年”も楽しく参加できるような「ビーチバレーボール」など

は如何でしょうか。親睦が恐怖にならないように。

南部支部 蔵 田 幸 一

バレーボール大会を終わっていつも思うことが二つあります。一つは疲れた。もう一つは来年は出たくない。しかしこの二つのことも、のどもとすぎれば何とやらで1週間もたてば忘れてしまい、諸先生方にお会いした時、バレーボール大会の話題になれば来年こそは頑張ろうと話している自分がおかしくなります。

今回の大会で一番感じたことは時期が早かったのと、雨が降っていたせいかも知れませんが、例年になくむし暑さが感じられませんでした。選手の方々は勿論、応援の方々も、むし暑いのはこりごりだと耳にします。

そこで一つの案ですが、来年も（今年でこの大会は終りという噂を耳にしましたが、うそだと信じています。）今年同様出来れば6月中に開催して頂きたいと存じます。委員会の先生方、各支部長の先生方も大変でしょうが、年1回の大会ですから来年も又その次の年も是非この大会を開催して頂きたいと存じます。

先生方とはお会いする機会は数多くありますが、御家族の方とはなかなか機会がありません。そういう意味も含めて10年前にこの大

会が始められたのだと思っております。

これからもずっと続けて、この大会が催されるのを祈っております。



チームプレーも惜敗でした
来年こそ、若い力?で!!

北 部 1



田中丸、順調に前進!!



初Vはいつかな？

まず最初に意外だったことは、先生方全員が、非常に熱心で、真剣に、しかも楽しく練習をされていたことで、練習が楽しみでした。又、日頃は仕事に追われ、運動のあとのすがしさを忘れていたな、と感じたりもしました。練習後に飲んだビールのおいしかったことは、言うまでもありません。

さて、試合当日、会場での大変な人数の多さに、歯科医師会の一丸となった姿勢を感じました。私は、熊本に住んで日も浅く、最近までは、相談にのっていただける先生も少なく、多少心細い気がしていました。

しかし、この大会を通じて、多くの先生方のお話を伺うことができたことを、とても嬉しく思っています。

また、私の不注意で足に受傷した為、かえって皆様に暖かい言葉をかけて頂き、申し訳なく思う反面、心強くもなりました。とはいものの、会長をはじめ、多くの皆様に御迷



今年はさびしか!!

小島支部 鳥 取 孝 治

惑をおかけいたしましたことを、心からお詫び申し上げます。

次回こそは優勝を目指して頑張りたいと、密かに闘志を燃やしております。

大会準備の為、お世話頂いた先生方は、誠に大変だったと思いますが、できることなら末長く続けて頂きたい行事だと思っております。



今年のダークホース
芽が出ず、来年へノ



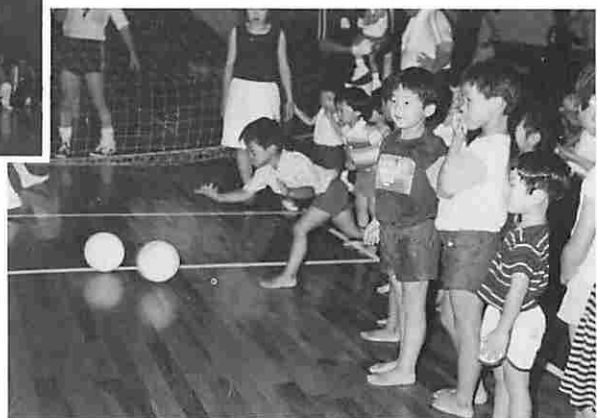
熱気ムンムン



東部2 女性陣の活躍で二度目のV!



うまく止まるかな



チビっ子奮闘、ジュースは何本倒れたかな?

バレーボール大会10周年を回顧して

北部第2支部長

岩 本 義 人

52年度第1回大会より早くも61年大会まで10年を経過したバレーボール大会は、デンタルファミリーの親睦交流へのベストメソッドであり、確実に市民権を獲得したものと断言して憚りません。

熊本市歯科医師会執行部に対しまして満腔の敬意と感謝の意を表する次第です。

第1回大会(52年)では、山内渥支部長率いる北部支部チームが初優勝のカップを獲得しました。第2回大会(53年)から、北支部は第1と第2支部に区分され、第1支部長に彌政富士雄先生が、第2支部長には小生が指名を受けましたので、早速第2支部では山内先生の御協力を得て新チーム編成に邁進しましたが、第6回大会(57年)までは不本意ながら成果が上がらず終いでした。之の雌伏5年間に、田島貞子先生を始め緒方孝則先生、徳永宣夫先生、工藤昭臣先生等々、選手獲得に御協力を得たのは言うまでもありません。

57年度大会まで会場は熊商大体育館ホールでしたが、第7回大会(58年)会場は県立体育館で挙行され、第8回大会(59年)から第10回大会(61年)まで会場は東海大高校体育館で挙行される様になり、58年度、59年度、60年度のこの3年間の大会では、連続準優勝の成果を上げることが出来ましたが、伊東隆利先生、杉野泰彦先生、奥田洋実先生、友枝和夫先生、岡田先生(伊東歯科)、立花先生(伊東歯科)、嵐史彦君(伊東歯科)、井本栄子さん(渡辺博歯科)方々の大健闘が特に光っていたのは言うまでもありません。

第10回大会(61年度)ではチャレンジスピリットを合言葉に優勝の栄を獲得すべく、メンバー全員でアタックしましたが、優勝チームの東部第2支部(宇治支部長)に完敗のため、不本意ながら今年は第3位に止どまって終った次第です。東部2を来年度のターゲットとして今後精進する決意です。

西部支部

永 田 博 久

熊本市歯科医師会バレー大会が本年で10周年を迎え、大変盛会のうちに記念大会を無事終了され、まことにおめでとう御座ります。

ふりかえりますと、最近では57年度商大附属体育館予定の大会が台風の為、当日になって中止のやむなきに至った事や、又西部では60年の7月6日、岩坂正亀先生がなくなられ

告別式とバレー大会が重なり午後の一部の試合が出来ず、12位になってしまった事などが思い出されます。さて小生の西部地区では現在16名の先生方がいらっしゃいますが、10年前バレーが始まった頃より開業された若い先生は50年の上村次郎先生、三隅裕邦先生に続き、住本和隆先生、中川順一先生、鳥巢直先

生の5名で、他の地区に比較しますとすくないのではないかと考えています。従って歴代の支部長の先生は大会の際は、チームの核となる若くてバレーをされる先生が少ない為、チームの編成に大変頭を痛めて来られたようで、その御苦勞は大変であったと思います。それでも10年間の成績は4位4回、5位1回、6位2回、8位2回、12位1回でベスト3にあと一步の4位が4回ありますが、今年は3位の實力はあったもののツキに見放されて4位になったのが実感で応援にも熱がはいりました。ほんとにこの10年間、支部長の片山幹夫先生、栗原幸紘先生には何かと御世話戴き

御苦勞様でした。西部地区は、今後もあまり大きい世帯にふえるとは思われない地区だけに、会員、家族、従業員の総力を結集して、まずベスト3入りをめざすべきではないかと思っています。

最後になりましたが、御世話される川崎正士先生始め歴代厚生部の先生方には、10年間続けてやって来られるには大変御苦勞もあつたに違いありません。厚く御礼申し上げます。これからも会員及び従業員同志の親睦をかねた楽しい健康的な大会として続けて戴きますようお願い致します。

＜10周年記念バレーボール大会懇親会＞

バレーボール大会の興奮がさめやらぬうちに会場を移して、10周年記念バレーボール大会懇親会が6月29日(日)午後6時より熊本交通センターホテルにおいて盛大に開催された。雨天にもかかわらず、また試合後のお疲れの中を市歯科医師会役員の方、各支部の方々のご出席をおおぎ、10周年記念にふさわしい合同懇親会になった。

山村厚生委員の司会で進められ、川崎正士会長の本日のバレーボール大会の労をねぎらうあいさつの後、来賓としてご出席いただいた宇治寿康県歯科医師会長のあいさつと、衆参同日選挙における選挙協力の要請に続き、山室紀雄副会長の勢いの良い乾杯の音頭で祝宴にはいった。合同パーティーという初めての企画で各支部相互間の親睦あるいは同支部内におけるデンタル・ファミリーの和というものに結ばれるような盛り上がりであった。

料理、お酒に上機嫌になった頃に、10周年式典の表彰に移り、永年支部長としてご尽力を頂いた各先生方に「**功労賞**」が、選手あるいは各支部の応援団として活躍していただいた先生方に「**特別賞**」として記念品が贈られた。続いてバレーボール大会の表彰を行い、

各支部1名に優秀選手賞が贈られ、該当する各支部の先生が発表されると場内から割れんばかりの拍手喝采をあげた。

表彰によって合同懇親会もクライマックスに達し、続いて厚生委員会より菅原洋理事よりバレーボール大会が終了するまでの経過及び各支部の方々のご協力に対する謝辞が行なわれ、鈴木勝志専務理事の迫力ある万才三唱で場内から拍手がなされ、山村委員の閉会の辞をもって合同懇親会も幕を閉じた。梅雨期のうっふんをはらうかのように盛り上がったこの祝宴も終わり、一堂に会した各支部の方々も早々と退散した。

厚生委員会の企画、運営に大変ご協力頂いた各支部長、バレーボール協力委員の先生方、ホテル関係者、協賛団体に紙面をかりて厚くお礼申し上げます。

＜協賛団体＞

- ニュースカイホテル
- 岩田屋伊勢丹
- 肥後銀行上通支店
- 体育の三健
- ゴールドコースト
- 熊本県材料商組合

<10周年式典表彰者>

	功 勞 賞	特 別 賞
中 央	吉 井 洋 一	川 崎 正 士 元 島 博 信
北 部 1	弥 政 富士雄	田 中 宏 林 田 充 成
北 部 2	岩 本 義 人	伊 東 隆 利
東 部 1	坂 梨 常太郎	本 田 亘・田 島 宗 穂 浜 坂 浩一郎・木 庭 邦 雄 藤 波 剛
東 部 2	堀 川 義 治	椿 幸 雄 宇 治 道 孝 松 本 一 之
東 部 3	堀 川 秀 一 宇都宮 啓 一	合 沢 康 生 野 村 雄 幸
東 部 4	才 田 雅 英	
西 部	栗 原 幸 紘 木 村 豊・片 山 幹 夫	永 田 博 久
南 部	森 永 侃 柿 原 康 男	岡 田 知 久 富 田 久 之 関 剛 一
小 島	坂 元 一 夫	坂 元 和 彦
川 尻	富 岡 浩 雄	

会長も満足そうなお挨拶



県歯会長 来賓ご挨拶



盛会な打ち上げパーティに感無量！



優勝おめでとう！！来年はいかに？



功労賞おめでとう！！ 年の功かな？



一日ご苦労さん、楽しく乾杯しましょう！



西部の縁の下の力持ち！ 御苦労様でした？



バレーの元島、未だ消えず
来年Vを目指す



〈勝利の顔々々!!〉
東部2 優勝



和気あいあいに懇親



東部IIの司令塔、
1年間の臥薪嘗胆実るノ



迫力（体力）あるバンザイ三唱



東部Iの美女(?)が勢揃い
ごちそうさま!!



〈市厚生委員 長い一日でした〉
スカットしました……理事は?

スタッフレベルアップ研修会

医療管理委員会 徳 永 俊 英

去る6月28日土曜日、医療管理委員会主催の、スタッフレベルアップ研修会が、熊本県歯科医師会館に於いて行われた。友枝先生の司会のもと、先ず川崎会長の御挨拶に始まり、講師紹介に移った。今回は、例年同様、キャリア開発研究所所長の荒川寿子先生を博多よりお招きし、2時間半の講演をして頂いた。会場には、約200名の出席があり、新しく採用された若いスタッフの人々の参加が多数、見うけられた。

先ず“はい”、“にこっ”、“すっ”の説明から入られ、これは、院長の要請に対して、直ぐに、「はい」と元気よく、ニッコリ笑ってすっと行動に移る事で、これが、診療室での行動の基本である事を、強調された。

I. プロを目指す為のQ-U P (品質向上)

1. ヒューマンスキル

ヒューマンスキルとは、スタッフの人間性の向上を意味し、これにより患者との接触がうまくなり又院長及び同僚とも人間関係が円滑に行われる様になる。

2. テクニカルスキル

テクニカルスキルとは、医療技術の向上を意味し、テクニックの向上と共に何事も能率よく行い時間の短縮に努める。

3. 問題点の解決

何事を行うにしても、問題点が生じてく

るが、もしその様な問題点が生じたら、院長や同僚のスタッフとよく話し合い解決に努める様にし、そのまま問題点をあいまいにしない。

以上の三項目が、うまくかみ合えば、品質向上につながり、院内は能率よく運営されていく。

II. プロである為の四つの基本

1. 正確
2. 迅速
3. 美しく
4. 感じよく

以上の四項目を常に頭に入れミスをなくす様に努力する。

III. ホスピタリティーと医院のサービス

1. 診療室の快適性

快適な状態とする為には冷暖房完備は勿論の事BGMを流すなどの工夫が必要。

2. 知的サービス

患者に口腔内のスライド写真やレントゲン写真を見せて、診療内容について、説明する。

IV. チームワーク強化の小集団活動

小集団はチームごとで仕事をするからチームワークである。

チームワークを強固にする基本的要素は、

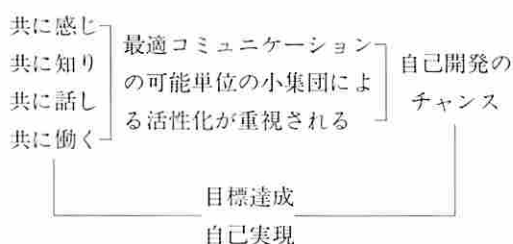
1. コミュニケーション

2. 目標設定

3. 全員がプロを目指す

4. リーダーの人間性

小集団を作るのが「小集団経営」ではない。小集団は、よりよいコミュニケーションの手段であって目的ではない。正確に表現すると「小集団による組織の活性化」ということになる。歯科医院の人員構成には各医院、規模の大小やドクターとスタッフの構成比率は同一ではない。しかし、年代差により価値観や意識の違いによる人造りのむずかしさが一様にあげられる。特にOA時代となると、経営も組織も今までの「知的構造」から「感性的構造」への変化が要求される。



以上の様な、お話しがあり時々荒川先生から聞いているスタッフの人々に、質問がありそれに答えるという講師とスタッフ間でのコミュニケーションもあり和気あいあいのムードで、楽しくあっという間に2時間半が過ぎスタッフの人々も熱心にメモをとっていた。最後に、牧野理事より、謝辞があり盛会のうちに終了した。



「第35回 母と子のよい歯のコンクール」

口腔衛生委員会

昭和61年5月24日(土)、駐輪場7階に於いて、熊本市、熊本市歯科医師会主催による第35回「母と子のよい歯のコンクール」が開催された。対象者は、熊本市内の各保健所に於いて実施された3歳児検診の際、発育状態並びに口腔内の健康が十分保持されていると思われる19組である。審査は、熊本市歯科医師会の口腔衛生委員と熊本保健所勤務の吉良直子先生の5名により、歯牙、歯列、咬合、歯肉、歯口清掃等の状態を区分し、母子合計200点満点の減点法で点数をつけ、5名の審査員の合計点数により評価した後、入賞者のみもう一度審査を行った。

厳正なる審査の結果、優秀賞の栗山真理子さん、元明くん親子と、服巻明美さん、和宏くん親子の2組、優良賞の4組が選出された。

審査の結果は今年も例年と同じく母親の状

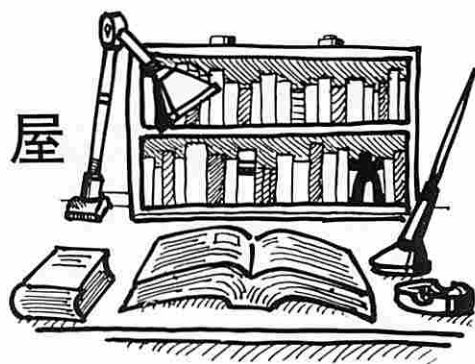
態で左右される形となった。

引き続き、川崎先生の挨拶、青木先生の審査講評の後、表彰式が行われ終了した。

関係者の方々の御協力に心より感謝致します。



勉強部屋



強度の下顎前突症に 対する外科的矯正と 2、3の考察

医療法人伊東会 伊東歯科

伊東 隆 利

伊東 武 嗣

はじめに

最近、軟食の弊害がとやかく言われるようになってきている。つまり軟らかい加工食品ばかり食べていると、カリエスや、歯周病や不正咬合、顎の縮小化や、顎関節の異常を惹起する。私共の診療室にも矯正治療を必要とする症例の増加、また矯正治療の限界を越えた顎の変形症など、「なるほど!」と思われるような症例が見受けられるようになってきた。

本稿は軟食の弊害であったかどうか、定かではないが、強度の顎変形症に矯正専門医と私共で包括的な治療を行い良好な結果を得た一症例を供覧し、2、3の考察を加えてみた。

症例

32歳未婚の女性で、昭和58年4月受け口、顔の歪みを主訴として某矯正専門医を受診し、一年間の術前矯正後、59年3月当院を紹介され受診した(写真1~6)。

写真1



写真2



写真3



写真4

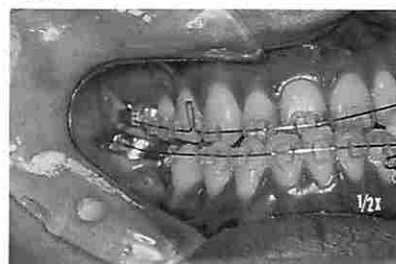


写真 5

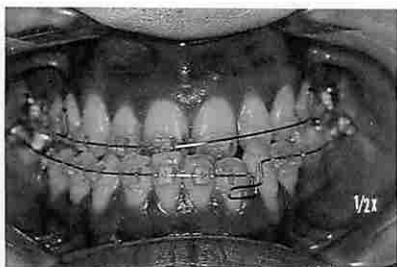


写真 6

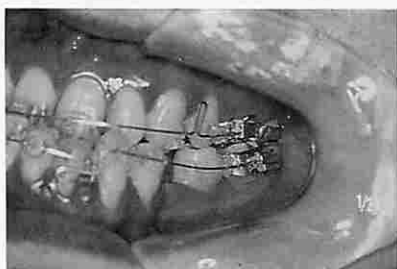


写真 7



● 治療：

①術前矯正、上下歯列の水平的、垂直的レベリングと下顎前歯歯軸の前方傾斜の賦子。

②外科的矯正

Obwegeser Dal-Pont 法による下顎骨矢状分割法を両側に行い、 $\overline{6}$ 部で 8 mm 後方、 $\overline{6}$ 部で 10mm 後方、下顎正中中部で 1.5 mm 左側へ移動を行い良好な咬合位を得た (図 1～3)。

● 診断：種々の検査結果により顔面非対称を伴う骨格型下顎前突症と診断した (写真 7、表 1)。

表 1

	Mean	S.D.
Facial A.	84.6	3.6
Convex.	6.6	3.2
A-B Pl.	-5.3	2.0
Mand. pl. Pl.	28.6	6.2
Y-Axis	65.2	4.7
Occlusal Pl.	10.7	4.7
Interincisal	125.6	7.4
L-1 to Mand.	96.2	4.8
FH to SN Pl.	6.1	3.7
S N P	78.7	2.9
S N A	82.1	2.7
S N B	78.5	2.7
NF to FH Pl.	3.9	3.3
U-1 to FH Pl.	109.6	6.6
U-1 to SN Pl.	103.8	5.4
G Z N	93.0	5.0
N S M	71.2	3.5
Gonial A.	121.2	4.6
Ramus A.	3.8	4.1
S-N to AP	75.3	3.4

(Standard : by Yamauchi and others)

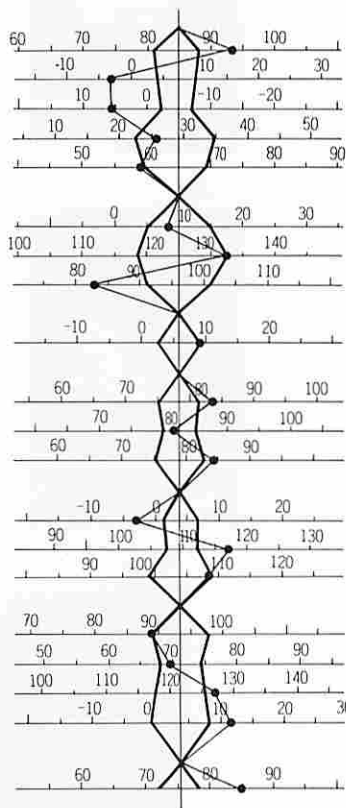


図 1



図 2

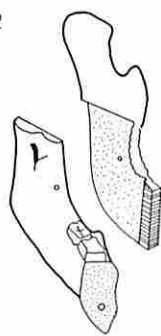
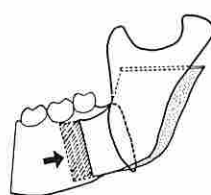


図 3



③術後補綴処置

6 | 6の欠損に対して⑦ 6 ⑤ | ⑤ 6 ⑦のブリッジを装着した。

考察

●口腔内（咬合）所見：一般に下顎前突の患者は正常者の約 $\frac{1}{3}$ しか咀嚼効率が無いと言われ、発音においてもサ行、ラ行がうまく言えないと言われている。

本症例は Angle Class III から Class I へ、咬合の安定性もよく後戻りも認められておらず、発音、咀嚼効率において著明な改善を認めた（写真8～10）。

写真8



写真9



写真10

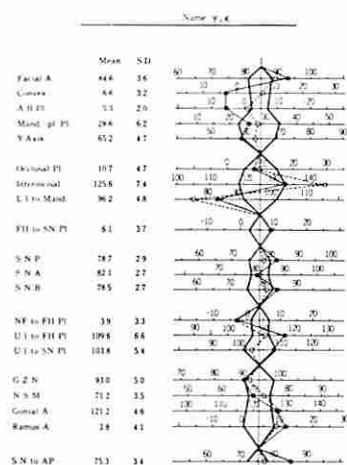


●セファロ分析所見：

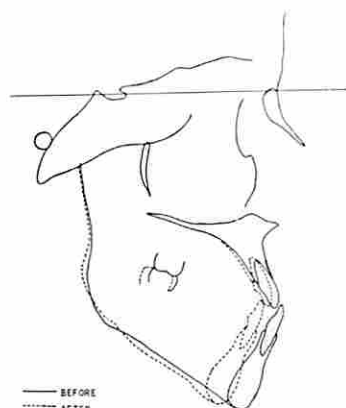
SHA-SNB Difference が 6° から 1° へと、Skeletal Pattern において著明な改善が認められている。

術前矯正のおかげで L-I-to Mand、U-I-to Mand などの Denture Pattern においてマイナス方向に変化せず好結果が認められている（図4）。

図4



(standard by Yamashita and others)



●顔貌所見：一般に整った美しいといわれる顔は、まず左右対称性であり、顔のいくつかの点、例えば眼、鼻、口、頤下点などの距離の比において黄金分割比をなしているとされている。また下顎前突の患者は下顔面の発育が過大で、頤部が突出し、下顎角が開大しており、いわゆる「花王石ケン型」顔貌を呈している。

本症例は術後、非対称、下顔面の過長、過大がとれてバランスを回復している。つまりE（眼）N（鼻）とNC（頤下点）、NM（口）とMCの距離の比が1：1,618の黄金分割比に近づいている。

また、N、M、Cが一線上に並ぶ、Rickettsのいう Esthetic line も充たしている（写真11～13）。

写真11



写真12

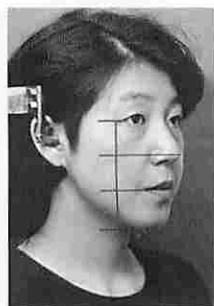
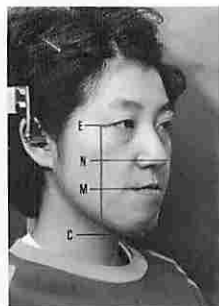


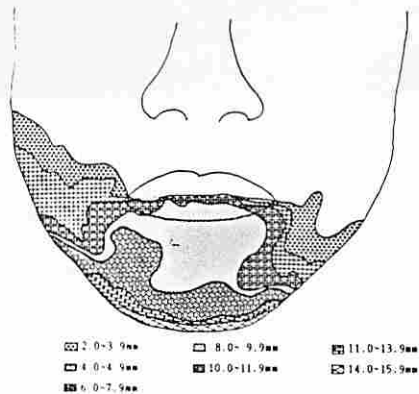
写真13



●モアレトポグラフィー分析所見：形態変化の三次元的、計量的把握に有効な手段としてモアレ写真が各分野で用いられている。私共も外科的矯正を行う全症例にこの分析を行い変化量の計量的把握と記録につとめている。

本症例ではある基準平面を作り、下顔面の術前後を比較すると、面積において右が17.2cm²から11.7cm²に減少、左が13.7cm²から9.1cm²に減少、体積においても同様な結果が得られている（図5、表2）。

図5



手術前、手術後の等変化曲線

表2

基準平面における
オトガイ部の術前、術後の面積と体積

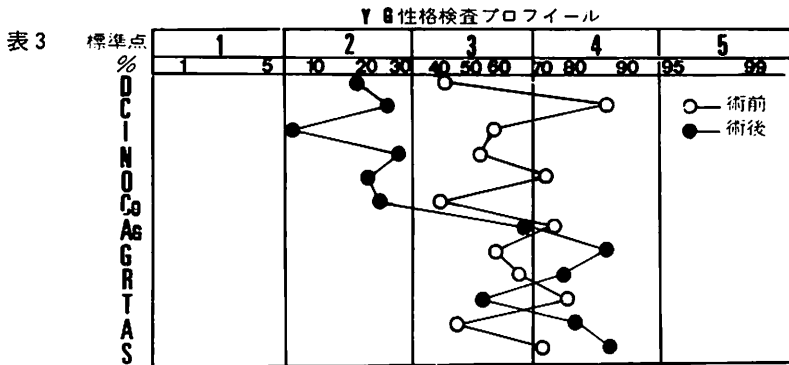
	手術前		手術後	
	右	左	右	左
面積cm ²	17.2	13.7	11.7	9.1
体積cm ³	23.6	16.8	9.1	6.5

●心理検査所見：強度の顎変形症の患者には顔貌、会話、咀嚼などの機能に対するコンプレックスから心理的に屈折していることが多く見られる。

私共は全例に最も簡便な方法である矢田部一ギルフォード法（Y-Gテスト）を行っている。術前後の評価を行っている。本症例も

A型から典型的なD型へ転換しており、情緒の不安定から安定へ、特にコンプレックスの要因が減少し、社会的不適応から適応へ、非活動的から活動的へと変化している。

心理上の好結果が目の輝きとして現われていることに注目していただきたい（写真11～13、表3）。



おわりに

最近の外科的矯正の進歩は、麻酔法や抗生剤などの薬剤の進歩と相俟って著しく、従来まで不可能であった、また光があてられていなかった顎変形症患者に大きな福音を与えている。

私共も過去11年間に Obwegeser 法を中心として100例を越す外科的矯正を行っており、その中には顔形成術、舌切除術、Le-Fort I型骨切り術などが含まれているが、全症例口腔内からの手術であるため、手術に伴う瘢痕、特に顔にキズは出来ず、顔面神経麻痺もなく審美的にも満足しており、発音、咀嚼効率の向上、また心理テストでも好結果を得、患者に大いに喜ばれ、術者としてもこの上ない喜びを味あわせていただいている。

今後、一般開業医、矯正専門医、口腔外科

医の連携が、ますます深くなり、こうした顎変形症患者の治療がスムーズにいくようになるものと考えている。

写真、図、表説明

写真1 初診時顔面正面

" 2 " 45°右側面

写真3 初診時顔面右側面

" 4 初診時口腔内右側面

" 5 " 正面

" 6 " 左側面

" 7 手術後セファロ写真

表 1 手術前セファロ分析表

図 1 手術術式図（骨穿孔）

" 2 " （分割）

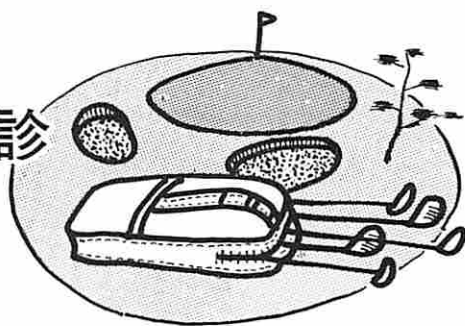
" 3 " （顎間固定）

写真8 術後口腔内右側面

〃 9 〃、 正面
〃 10 〃 左側面
図 4 術前後のセファロの重ね合わせ
写真11 術後顔面正面
〃 12 〃 45° 右側面

〃 13 〃 右側面
図 5 モアレ写真等高線図
表 2 面積、体積の変化
〃 3 Y-Gテスト

本日休診



「パコーン」

友 枝 和 夫

健康の為と思って始めたテニスですが、武蔵ヶ丘に引っ越してからですから7年になります。こういう記事を書くにすごくうまいと誤解されそうですがドクターH²から「書け！」という要請ですので、誤解されない様を書いてみようと思います。

私の得意ワザはサーブアンドボレー（プロか!?）（サーブを打つのと同時にネットへ向って走り、ネット際で相手からの返球をノーバウンドで打ち返す事）で、決まればこれ以上気持ちの良いプレーはありません。が、一番難しいプレーでそう簡単に行くものではありません。まず、いいサーブをする事が第一条件です。スピードとコーナーをねらうコントロールがないと、反対に一発で脇をリターンエースされてしまいます。

青い空の下での白球、最近ではほとんどが黄色のボールですが、これを必死で追って打ち返す（ストロークといいます）、数十分もやると息もたえだえ、ヒザはガクガクになってきますが、テニスならではの爽快感、満足感



がヒシヒシと打ちよせてきます。ちょっと休憩しようと思う間もなくさあ次はゲームをやるという声がかかります。普通はダブルスをやる事が多い様です。シングルスと違って守備範囲が狭いので二人でストロークの練習をしたり、シングルスやるよりはうんと楽です。しかし、自分の守備範囲内はしっかり守らないと自分のペアに迷惑をかける事にな

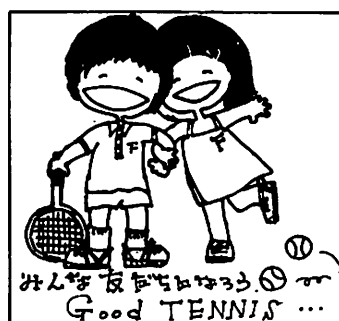
ります。だから自分のペアに対してだけは気を使う事になります。これがシングルスと一番違う所です。シングルスは自分のコート内に来るボールはすべて自分だけの力で打返さなければなりません。ミスしても自分だけの事です。さあそのダブルスのゲームですが、私は近所のテニスクラブに入っていて、だいたいほとんどの人が顔見知りでゲームも和気藹々の内に進みます。一つ一つ講釈がはいる人もいれば、さんざんけなす人もいます。大体

うまい人は余りしゃべりません。

割と古いテニスクラブですので、40歳台からかなり御年配の方もおられ、テニスイコールギャルの方程式とは違っておばさんおじさんとやる事も多いです。あー！たまにはギャルと一緒にテニスを楽しみたいと思うこの頃です。

往復の時間は余りかからないし、かかる費用も手軽で、割とハードなスポーツですが、皆さんも一度やってみたらいかがでしょう。

何事も経験です。



補助者講習会

昭和61年5月11日 於県歯科医師会館

私共歯科診療は昔はドクター一人で何もかもやっていた時代がありました。又は奥さんと二人でとか？ 然しながら戦後の医療の発展と共に複雑になってきますと一人や二人ではとてもやれるものではなくなってきました。即ち、診療の能率化、合理化が必要になってきました。そのようななかで特に従業員、アシスタントの役割、任務及びその活動が重要なポイントとなって参ります。それには連携プレー、及びチームワークが必要になってきますが仕事の内容を熟知して技術をマスターしなければなりません。

熊本市歯科医師会学術委員会では毎年表題の事業をやっておりますが、本年は意外と希望者が多く嬉しい困り方をしたものです。去る5月11日午前9時より会館3FホールでG.C.さんの御協力を得て先ず挨拶について3班に別れてそれぞれ接着剤コーナー、印象材コーナー、シリコン系印象材コーナーに分れ、光重合についての映画による説明、次いで、G.C.さんの3人の指導員によって行われた。丁度県歯科医師会学術委員の方でも4Fで歯周病の研修会が行われ全館活気に満ちていた様です。

歯科材料もその種類が増しその取り扱い方も熟練を要します。第一コーナーでは、先ずアルギン酸印象材の練り方、寒天印象材との

連合印象のやり方、第二コーナーでは硅磷酸セメント、グラスアイオノマーはじめその他のセメント類の混合比、練板、スパチラ等の操作、練り方、光重合レジンの操作のやり方を指導される。

3Fの室内温度を見ると26℃昨夜来の雨を心配していたが幸い雨もやみ朝から次第に天候も回復したのですが室内は温度と湿度が高く少し種々の材料操作に苦勞している様でした。第3班はシリコン印象材の取り扱い方、即重レジンによる各個トレーの作り方、これによる連合印象のやり方等指導され、午前中一通りの講習をやり、12時半に終って、午後からは、再度班を交替して午前中同様の講習を1時半より始められ2時半ごろ全てが終り一同ホッとしていた様です。

私共院内でこれ等の指導もやるべきでしょうがなかなかその時間もとれずやりにくい点もあるようです。

この様に皆さんと一緒にまとまってやるとスムーズにいく様に思います。

衛生士の仕事としては他に色々あることは御承知の通りですが基本となるものはやはり、しっかり身につけて貰って、診療の能率、効率化を進めていくべきだと思います。

色とりどりのユニフォーム、若やいだ中にも緊張していた様ですが午後には少しなれて

皆一生懸命やっていました。

尚、今回申し込み多数で受講出来なかった
医院、並びにスタッフの方々に対しては申し
訳なく思っております。今年中に第2回の講
習会を開きたいと思っておりますので今暫

くお待ち頂きます様、おわび申し上げますと
共にお願い致します。いずれその時は御案内
申し上げます。

学術委員会 岩村 泰行



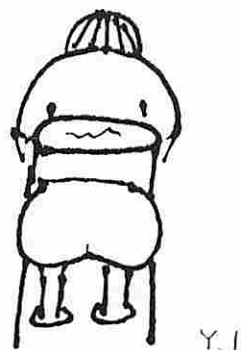
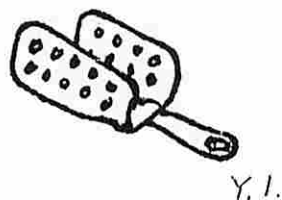
熱心に受講



各班にわかれて実習



印象材を練習中



「ビリヤード大会」

熊本市歯科医師会厚生部主催

時：昭和61年6月17日(火)

場所：ニュー河庄(水道町)

熊本市歯科医師会厚生部では、「バレーボール大会」、旅行、パーティー、その他、種々私共会員のためお心配りを頂いておりますが、このたび「ビリヤード大会」の企画をされ上記の日程で行われました。私共を取りまく環境はその厳しさを増しております。こうした中でストレスは益々強まってまいります。仕事以外に気分を転換して行く必要があります。そのためには色々の趣味を持つ事は明日への活力の源泉となりましょう。

今年の梅雨はやや遅れましたがやっと雨らしい雨が降り始めた去る17日、診療を終え、会場に集合、堀川義治先生より競技ルールの説明の後、定刻7時に試合開始、日頃笑顔で相手に向っていたが、この日ばかりはやや緊張気味。中川順一先生、亡くなられたお父上共々以前親子でなさっていただけにその構えもどうに入ったもの。第一回戦を午後の9時頃終えて一休み。お茶を飲みながら一回戦の反省、相手を覚えたり、失敗をすなおに披露？ 鈴木勝志先生もニコニコしながら一緒に一服。やがて第2ラウンド第2回戦へ時の経つのも忘れて互いに戦い終ったのは長針と短針が鋭角をなす頃でしたか、かくて一夜を楽しく過ごしました。参加者及び成績下記の通

り。お互いの懇親を深めた一夜でした。前述の通りストレス解消のため何か趣味を持ちお互いの懇親を深めていきましょう。尚今回の熊本市歯科医師会の企画に対して今後も宜敷くお願い申し上げますと共に厚くお礼申し上げます。終りにやってみようかと興味をお持ちの先生がおられましたら堀川義治先生まで。

(岩村記)

堀川 義 治 (47)	優勝
中 川 順 一 (30)	二位
岩 村 泰 行 (23)	三位
奥 田 実 (21)	四位
吉 良 直 衛 (25)	五位
三 隅 房 邦 (51)	六位



右より岩村、三隅、中川、堀川、奥田、吉良各先生

新樹会10周年記念大運動会

新樹会広報 遠 山 啓 介

日本晴という言葉がぴったりの青空に恵まれた絶好の運動日和りだった。青空と新緑の中、新樹会運動会は、10周年にふさわしく盛大に開催された。会場の県立運動公園には、会員、家族及びデンタルファミリー、合わせて約400名程の人が参加した。新樹会OB、元議長の先生方も数名参加された。

西本副議長の開会の辞、国歌斉唱と続き、次に千場議長による挨拶。その中で議長は、日頃の運動不足とストレスの解消、そして会員およびデンタルファミリーの親睦を兼ねて汗を流し、全員楽しい一日を過ごしましょうと述べられた。新樹会OBの先生による来賓挨拶。競技上の注意を河野先生が言いわたされた。選手宣誓、ラジオ体操と式次第は進行的した。その後、今年初めての企画である、基本エアロビクス体操を全員で楽しみながら学んだ。日頃の運動不足がたたって、思うよう

に手足が動かず、改めて日頃の鍛練の必要を思い知らされた。

10時より競技開始。最初に幼児、子供による徒競走。早い子も遅い子も、みんな賞品を手にして嬉しそうだった。すべてのプログラムに渡って、ルールはあってなきが如きもの、順位もあってなきがごときもの。只、全員がそれぞれに面白く、汗を流して競技を楽しみ趣旨である親睦を深めた。その中にあって、グループリレーには、選手一同、和気藹藹としたなかにも真剣な眼差しがあった。

数ヶ月前からプロジェクトチームを作り、企画、準備して来た運動会は、事故もなく無事そのプログラムをすべて終えた。赤城先生の閉会宣言ののち、会場の整備、清掃をして運動公園を後にした。汗を流した全員が心地良い疲労感に浸りながら……。



学校保健功労者に
林正之・内田裕治・中根俊吾先生
表彰さる。



熊本市学校保健会総会が、6月20日、産業文化会館において「自ら進んで健康生活を実践する児童生徒の育成」のテーマで行われました。総会の席上、学校保健功労者11名が表

彰され、そのうち歯科医3名、林正之、内田裕治、中根俊吾先生が栄に浴されました。

(柿原康男記)

御 案 内

“救急蘇生法 実習講習会開催”

学 術 委 員 会

最近、新聞等で、医療事故、訴訟等の記事が、たびたび報道されていますが、我々歯科医師にとっても、他人事ではありません。常に麻酔の使用、抜歯を初めとして、外科的侵襲を加える処置を行っている我々にとって、何らかの偶発症の起こりえることを常に考えておかねばなりません。(日歯医師会誌'86. 8月号参照)。また起った場合の緊急時の処置をすばやく行える体制、器具、薬品等を整えておかねばなりません。

これが、何事も訴訟にうったえるようになってきた現在の社会情勢から我々を守ることにもなるのです。

そこで今回は、少人数の医師単位で行える救急蘇生法のマネキンを使った実習講習会

を企画致しました。

今年度、新しく作製配布致しました、救急ポスターの御利用とともに、必ず出席されて身につけられることをおすすめ致します。

講習日区分け

9月24日(木)	中央支部
25日(木)	北部1・2支部
26日(金)	東部1・2支部
29日(月)	東部3・4支部
10月22日(木)	西部、川尻支部
23日(木)	南部、小島支部

会場：県歯科医師会館 2F

時間：PM7:30～9:30

お 知 ら せ

学校医謝礼金の推移

1 内科・眼科・耳鼻科・歯科(内科1,000人以上2名、歯科1,500人以上2名)

(単位：円)

児童生徒数	年度	54	55	56	57	58	59	60	61
300人 以下		100,000	112,000	126,000	139,000	144,700	147,700	152,800	159,300
301人 ～ 600人		102,000	114,000	128,000	141,000	146,700	149,700	154,800	161,300
601人 ～ 900人	(13.04%)	104,000	(11.54%) 116,000	(12.07%) 130,000	(10.0%) 143,000	(3.9%) 148,700	(2.02%) 151,700	(3.36%) 156,800	(4.15%) 163,300
901人～1,200人		106,000	118,000	132,000	145,000	150,700	153,700	158,800	165,300
1,201人～1,500人		108,000	120,000	134,000	147,000	152,700	155,700	160,800	167,300

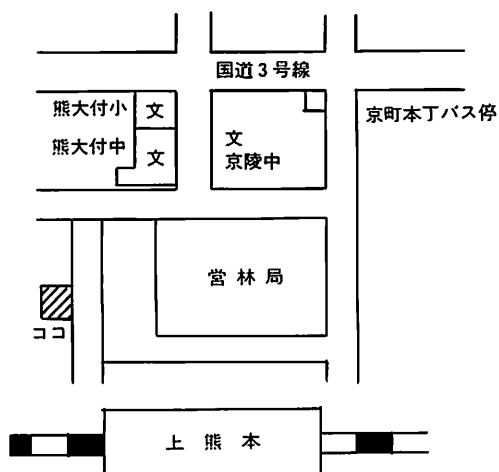
2 内科の医師のみ

管理校医手当	12,000	13,000	14,000	15,000	15,000	16,000	17,000	18,000
--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

3 学校薬剤師

学 校 薬 剤 師	85,000	90,000	90,000	90,000	90,000	91,000	91,000	94,000
-----------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

〔住宅・マンション案内〕



京町レジデンス
(熊本市上熊本3丁目10-26)

2LDK(6帖(和)6帖(洋)18帖(リビング))

駐車場

有り

倉 庫(2帖)

家賃 1ヶ月 6万円

その他、管理費、敷金有り

連絡先 三笥歯科(三笥司)

TEL 324-7287

今回は初めての試みとして、住宅案内を掲載しましたが、今後、色々な情報交換コーナーを開設いたしましたので、おおいにご利用下さい。

例えばサークル案内、物品及び中古交換、情報交換、etc……。

小さな原稿を熊本市歯科医師会事務局、又は関まで御投稿下さい。お待ちしております。

新入会員紹介



1. 氏 名 杉 野 弘 武 TEL 379-0005
2. 住 所
(自 宅) 熊本市田迎町出仲間754-5 TEL 379-0005
(診療所) "
3. 生年月日 S.33.2.9 生

4. 趣 味 絵画
5. 好きな言葉 特にありません
6. 経 歴 S.58.4 福岡歯科大学卒業
7. 家族構成 (氏名・生年月日・続柄)
杉 野 多恵子 (妻)
杉 野 晶 子 (長女)



1. 氏 名 ^{たのうえ} 田ノ上 ^{かづひ} 輝 TEL 326-6126
2. 住 所
(自 宅) 熊本市上熊本1丁目9-40-303 TEL 326-6126
(診療所) " 池田3丁目1-50 TEL 325-5911
3. 生年月日 S.30.5.31 生

4. 趣 味 剣道
5. 好きな言葉 なるべくしかならん

6. 経 歴 S.49 熊本高校卒業
 S.58 九州歯科大学卒業
 " 福岡県志免歯科医院勤務
 S.61 同 上 退職
 S.61.6 池田3丁目で開院

7. 家族構成 (氏名・生年月日・続柄)

田ノ上 慈 子 (S.30.4.4生 妻)
 田ノ上 高 人 (S.60.2.15生 長男)



1. 氏 名 大 園 正 人

2. 住 所

(自 宅) 熊本市湖東1丁目15-10

(診療所) "

TEL 367-5428

"

3. 生年月日 S.24.3.21 生

4. 趣 味 釣り

5. 好きな言葉 特にありません。

6. 経 歴 S.57 大阪歯科大学卒業
 S.58.8 鹿児島県出水市にて開業
 S.61.6 閉院
 S.61.7 湖東にて開業

7. 家族構成 (氏名・生年月日・続柄)

大 園 典 子 (S.24.3.3生 妻)
 大 園 啓 子 (S.50.7.7生 長女)
 大 園 祐 子 (S.53.9.14生 次女)

会 務 報 告

理 事 会

月 日	協 議 題
5 月22日	各委員会事業報告
6 月19日	新入会員・入会金の件について 各委員会事業報告
7 月17日	新入会員・入会金の件について 各委員会事業報告
8 月21日	各委員会事業報告

広 報 委 員 会

月 日	協 議 題
7 月14日	熊市歯会報第56号編集会議
8 月25日	〃 第56号会報編集

医療管理委員会

月 日	協 議 題
5 月21日	スタッフ研修セミナー開催の件 税務、経営の冊子作製の件
6 月27日	スタッフ研修セミナーの内容に関する件 会員数分布の状況について
7 月29日	市各支部境界線引きについて 講演会講師について ガイドブック作製について
8 月20日	税務小冊子、役割分担決めについて 講演会講師、支部境界線について

口 腔 衛 生 委 員 会

月 日	協 議 題
5 月20日	母と子の良い歯のコンクールの審査について
6 月26日	母と子の良い歯のコンクールの総評について
7 月16日	61年度市立幼稚園フッ素塗布計画、立案について

学 術 委 員 会

月 日	協 議 題
5 月29日	補助者講習会の件について 救急蘇生法、会員発表学会、B型肝炎の件について
6 月16日	会員発表、B型肝炎に関する件
8 月 1 日	救急蘇生法のポスターに関する件

月 日	協 議 題
8 月 1 日	8 月22日の救急蘇生法説明会について
8 月22日	救急蘇生法ポスターの件について

社 保 委 員 会

月 日	協 議 題
5 月24日	各郡市社保担当者連絡会議報告について
6 月10日	診療録の記載及び整備について 診療報酬の請求誤りにについて
7 月 8 日	診療報酬の請求について 60歳以上会員対象の社保講習会について

厚 生 委 員 会

月 日	協 議 題
6 月11日	バレーボール大会及び記念式典の打ち合わせ
6 月25日	第10回バレーボール最終打ち合わせ
7 月30日	第10回バレーボール大会の反省と新年会パーティの期日決定
8 月19日	新年パーティ予定作成について

学校歯科委員会

月 日	協 議 題
5 月21日	市学校保健大会に関する件 幼稚園検診、講演依頼について
6 月20日	市学校保健大会報告 よい歯と健康シリーズ、カセット、スライドについて 鮑田東小、南小、鮑田中学検診について

開業相談委員会

月 日	協 議 題
5 月15日	新入会員の開業について

編集後記

秋の声も、聞こえる時期となりました。

寝苦しい夜の続く夏に、うんざりしていましたが、やっと体調も整って、またひと働きしようかと思う季節となってきました。

十周年記念のバレーボール大会も無事終了しました。皆様方本当に御苦勞様でした。

今回は皆様方の御協力により原稿もたくさん集まり、私共感謝の気持ちに耐えません。今後共、皆様方の為になる会誌作製を目指し、頑張ってゆきたいと思います。

広報委員会

熊本市歯科医師会会誌

第 56 号

発行日 昭和61年9月12日発行

発行所 熊本市歯科医師会

熊本市坪井2丁目3番6号

TEL (343) 6669

発行責任者 川崎正士

印刷所 コロニー印刷

熊本市二本木3丁目12-37

TEL (353) 1291